



開物成務

平成30年 10月 1日(月)発行

校長 津田 将美

心を一つに 全力でつき進め!!



をスローガンに、今年も子どもたちが一生懸命練習を重ねてきた運動会が終了しました。

保護者のみなさまには、2学期に入ってからのお子さんの健康管理やお弁当作り、テント設営や準備、片付けに至るまで多くのご支援、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

前日に延期を決定したことにより、予定の変更を余儀なくされた保護者の皆様には、ご心配、お手数をおかけいたしました。お陰様で当日は、比較的ゆとりをもって迎えることができ、グラウンドコンディションも最高でした。



子どもたちのこの日にかかる思いは、開成式から十分に発揮されていたと思います。気持ちのこもった入場行進、話を聞く態度、返事、運動会の歌、力いっぱい声を出した応援等々、どれをとっても「心を一つに全力で」という姿勢が表れていて、本当に清々しいスタートをきることができました。

来ていただいたみなさんにも、開成小学校の子どもたちの、この運動会にかかる思いが伝わったことと思います。



1年生から6年生までの「心を一つにした」演技は、当日に実際に観ていただいた通りです。

学校長のことばの中でも申しましたが、各学年の練習の中には「仲間を大切にする」という「心を一つにする」ための要素がたくさんありました。友だちの良いところをたくさん見つけて表現する1年生。仲間と息を合わせて流れるような動きを完成させた2年生。難しいステップも、友だちと声をかけ合う中で完成に近づけていった3年生。全体での成長を喜び合い、学年みんなでかっこよくなっていった4年生。そして「早く、早く」から、「急がなくていいよ。」「だいじょうぶ。」「という声かけに変わっていった5、6年生。どの学年の子どもたちも、うまくできたことを喜び合い、うまくできないことも支え合いながら、みんなで成長してきました。



そんな姿を多くのみなさんに観ていただけたこと、本当にうれしく思いました。

閉成式では、優勝の黄色組を全校で祝いながら、お互いの健闘を称え合いました。

児童代表の甘利瑛太さんの言葉「負けたけど、悔いはありません。」は、正に素直な気持ちがそのまま表現されたすばらしいまとめの言葉だったと思います。そして、いよいよ運動会も最後という「おわりの言葉」で、意外なことが…。

「これもちまして、開成町立開成小学校の運動会を終わりにします。」

という教頭先生の言葉の後に、

「はい！」

という返事が聞こえたのです。決して大きい声ではありませんでしたが、一人や二人ではありませんでした。何人かが気持ちをひとつにしたように返事をしたのです。

長い教員生活ですが、運動会の終わりの言葉への返事を聞いたのは初めてでした。意外ではありませんでしたが、その後、しみじみとうれしくなりました。

きっと、最後の最後まで、一生懸命気を張っていたんですね。思わず子どもたちの顔をしげしげと見てしまいました。みんな疲れているはずですが、晴れやかな顔をしていました。

開成小学校運動会を終わりにします。





じぶんが
どこにいるか
わかるかな

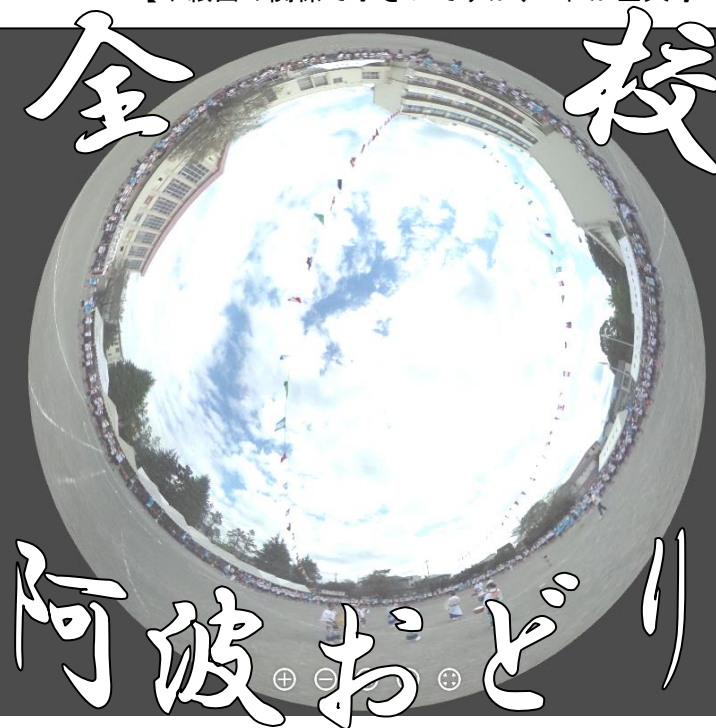
5年生の保護者の柳沼さんに、全天球カメラをご寄付いただきました。せっかくですので、全校で阿波おどりをしているところをカメラに収めました。参加者全員映っているはずですが、撮影範囲が広く遠景ではありますが、がんばった運動会を思い出しながら、自分や友だちの姿をさがしてみてください。
【↓紙面の関係で小さいですが、これが全天球バージョンです。】

各種目への参加、 ありがとうございました

保護者や地域の皆さんにも参加していただく種目も、天気の手配がなかったことで、滞りなく行うことができました。

「阿波おどり」「さいさい節」「お寿司は好き？へい！！らっしゃ〜い」

決して種目数が多いわけではありませんが、このような種目が開成



小学校の運動会を更に盛り上げてくれていたことも確かです。特に「お寿司…」では、得点種目ではないにも関わらず、各色の子どもたちを巻き込んで、大人の熱い姿を見せていただきました。接戦あり、ハプニングありで、子どもたちも、とてもうれしそうでした。

地域全体で盛り上げる運動会。そんな雰囲気を作っていたいただいて、本当にありがとうございました。

見つけたよ すてきさん

運動会前のあわただしい昼休みのこと。木曾先生が荷物を運んでいると、中学年の女子が2名そばに来て言いました。

「持ちましようか。」 / 「ありがとう。大丈夫。」 / 「何か手伝うことは、ありますか？」

他にも運ぶものがあるので、かいせい学級から荷物を運んでもらうようお願いすると、しっかりと荷物運びを手伝ってくれたそうです。休み時間も十分に取れない、忙しい時期の昼休みの出来事です。

この話題を聞いた職員室では、何とも言えないあたたかい雰囲気が流れたそうです。

忙中閑あり。忙しい中でも、ホッとする出来事を「すてきさん」がつくってくれました。

